

# Compliance Guardian 3

## SP3 CU1

### リリースノート

リリース日: 2015 年 2 月 10 日

## 新機能と強化点

- スケジュール分類スキャナーとリアルタイム分類スキャナーで、イベント レシーバーおよび SharePoint Yammer Web パーツを利用して、Yammer のコンテンツをスキャンすることが可能になりました。
- アクション ポリシーに、**値を指定しない** 状態が追加されました。選択すると、空白の列値が存在する SharePoint ドキュメントやアイテムに対してアクションを実行することができます。
- 検疫マネージャーで、SharePoint 2010 の検疫ファイルのプロパティを編集することが可能になりました。検疫マネージャーを使用して (検疫タイプは **元の場所でリストア**)、検疫済みファイルのリストアを完了した後、ファイルは、ファイルやファイルのプロパティに変更があったかどうかにかかわらず、リアルタイム分類スキャナーのルールを利用して自動的にスキャンされます。
- チェックに **Context** タイプが追加されました。このチェックを使用すると、SharePoint サイト・リスト・アイテム、ファイル、AD、Yammer プロパティをチェックし、条件に合致するものを検出することができます。
- 分類およびタグ付け用テスト パッケージに、タイプとして **Dynamic** を追加しました。マクロ式を指定して、タグ値として使用する値を検索することができます。
- **インシデント マネージャー** で、アイテムにコメントおよび添付ファイルを追加することが可能になりました。
- **アクション レポート** と **ソーシャル レポート** を、イベント ビューアにエクスポートすることが可能になりました。
- チェックに **Fingerprinting** タイプが追加されました。このチェックを使用すると、ドキュメントおよびファイルに存在するコンテンツを検索条件として利用し、同一の、もしくは類似した内容を持つドキュメントやファイルを検索することができます。
- データベースをスキャンする **コンプライアンス スキャナー for データベース** が追加されました。
- **ユーザー通知設定** で設定を行い、あらかじめ設定されたユーザーに対し、コンテンツの作成・編集を実行したユーザー名を通知するメールを送信することが可能になりました。
- 許可された場所へファイルを移動する機能が追加されました。この機能を使用することにより、ファイルを同一ファームに存在する複数のサイト間、複数のファーム間に存在する SharePoint 2010/2013 の同一バージョン間、オンプレミス版 SharePoint 2013 と SharePoint Online 間で移動することが可能になります。この機能を使用するためには、アクション ポリシーで **許可された場所への移動** を選択して追加し、同一サイト内のライブラリもしくはフォルダーの相対パスもしくは完全パスを入力するか、同一ファーム内のライブラリもしくはフォルダーの完全パスを入力することにより、指定された場所にファイルを移動します。

- Lync コンテンツをスキャン可能である **Lync 用コンプライアンス スキャナー** が追加されました。この機能では、アーカイブされた Lync コンテンツを検索することも可能です。
- ADO.NET データ プロバイダーを利用してデータベースをスキャンすることが可能になりました。
- SharePoint Online サイトをリアルタイムでスキャンすることのできる **Compliance Guardian リアルタイム分類用アプリ** が追加されました。
- SharePoint 用コンプライアンス スキャナーと SharePoint 用分類スキャナーの **プラン設定** でレポートを構成し、特定のユーザーに対してスキャン結果をメールで送信することが可能になりました。
- フルテキスト インデックスと検索機能を使用して、Lync サーバーからアーカイブされたコンテンツを検索することが可能になりました。
- **セルフ チェッカー** 機能が追加されました。
- SharePoint Online サイトのスキャンが可能になりました。
- iFilter を利用することにより、Microsoft Office 2003 およびそれ以前のバージョンのドキュメントをスキャンすることが可能になりました。

## 既知の問題

- Compliance Guardian を Safari で使用することはできません。
- Yammer 用スケジュール分類スキャナー ジョブでは、240 件以上のメモをスキャンすることはできません。
- SharePoint からチェックアウトされている状態のファイルに対して **暗号化** および **暗号化と検疫 (元の場所で検疫)** を実行することはできません。
- リアルタイム分類スキャナー ルールを SharePoint Online サイトに適用する場合、ユーザー プロファイル、メモ掲示板のメモ、ニュースフィードに対して **削除** と **ロック** を実行することはできません。
- SharePoint からチェックアウトされている状態のファイルに対して、スケジュール分類スキャナーを使用してスキャンを実行することはできません。スキャンを実行する場合は、状態を **チェックイン** に変更してください。
- Oracle データベースに対する増分スキャンは実行できません。
- 各クエリに対して一部の情報のみを送信する Yammer API の制限により、スケジュール分類スキャンは、すべてのメッセージを取得する前に完了してしまう可能性があります。

- SharePoint Online サイトのリアルタイム分類スキャナーに対して適用されたルールは、Compliance Guardian アプリが異なるクライアント ID を利用して有効化されている場合、トリガーされません。
- Windows 8.1 Pro を使用している場合、Internet Explorer のバージョン 11.0.9600.17416 で Compliance Guardian を使用することはできません。
- 完全コンプライアンス スキャナー プランの状態が **完了 (実行中に例外あり)** である場合、構成された保持ルールは無効となり、以降のプランでもこの状態が継続します。

## 通知

この発行に含まれている資料は AvePoint, Inc に所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。この発行内の登録商標または著作権はいずれも削除または変更することができません。

## 著作権

Copyright © 2013-2015 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複写、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

## 登録商標

AvePoint<sup>®</sup>、DocAve<sup>®</sup>、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010/2013、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems、Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

## 変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

〒 108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階